

平成29年9月22日

NPO 法人 野生動物救護の会 理事長 殿

NPO 法人野生動物救護の会 動物痕跡調査班

## 第1回講習会 報告書

先日行いました動物痕跡調査第1回講習会について下記のとおりご報告いたします。

### 記

#### 1. 概要

- (1) 件 名：自然環境保全センターで野生動物の痕跡を調査してみよう
- (2) 目 的：自然環境保全センターにおいて本会が実施している野生動物（哺乳類）の痕跡調査について活動内容を参加者に紹介する。
- (3) 実施日：平成29年9月16日 午前10時～午後2時
- (4) 対 象：会員、および非会員
- (5) 方 法：1. 動物痕跡調査の基本や調査の方法を説明する（座学）  
2. 自然観察園の中を参加者全員で調査する（体験）  
3. 体験調査で発見した動物痕跡を参加者全員で同定を試みる（座学）
- (6) 場 所：自然環境保全センター本館2F ワーキングルーム、自然観察園

#### 2. 報告事項

##### (1) 動物痕跡調査の講習会

本会会員向け、および自然環境保全センターのボランティア向けメールを用いて告知をした結果、台風18号の影響による悪天候にもかかわらず会員2名、非会員3名が参加してくれました（表1）。午前10時からワーキングルームで開始した講習会では、参加者全員を前に講師役の遠藤順一と小林夏子が自己紹介をした後、パワーポイントのスライドを用いて説明を行いました。

「動物痕跡調査の基本」では、本会の動物痕跡調査事業の実施期間（when）、実施場所（where）、調査の目的（why）を説明し、調査対象の動物痕跡とは何か（what）を実際の痕跡の写真を見ながら解説しました。「調査の方法」（how）では、調査に出る時の服装や持ち物、動物痕跡を発見しやすい場所の紹介、記録のとり方、種の判定の方法などを説明しました。参加者からは講師役の説明中も頻繁に質問があり、活発な質疑応答が行われました（図1）。

ワーキンググループでの座学の後、午前11時半より参加者全員で自然観察園に痕跡調査へ向かいました。今回の体験講習会では、公開エリアと一部の非公開エリアの中を調査しました。早朝からの雨で足跡などの痕跡はだいぶ流れていましたが、いくつかの痕跡を発見することができました。発見した痕跡については講師役が解説を行い、参加者全員で写真や記録をとりました（図2）。実際のフィールドで動物の痕跡を発見し、講師役を交えて会話も弾み、参加者もますます興味をもつことができたように感じました。

お昼休みの後、ワーキンググループにおいて講師役と参加者全員で、体験調査で発見した動物痕跡の同定を行いました。参加者の一人、笠原さんから講習会に先立ち、職場に残されていた痕跡（糞）に関して同定の依頼があったので、他の参加者の方たちも交えて考えてみました。結局、種の同定はできなかったのですが、痕跡だけで種を判定することが難しいことを理解してもらう良い教材となりました。更に図2の真ん中の写真に写っている足あとがどんな動物のものか参加者の方たちに考えてもらいました。「シカ」、「イノシシ」、「わからない」などなど皆さんの回答はいろいろでした。答え合わせは、足あとがあった場所に前日から設置していたセンサーカメラの動画で行いました。参加者の方たちは、映しだされた動画を観てびっくり、本日もっとも盛り上がりました。

## （2）アンケートの結果

### 1. 講義の内容は分かりやすかったですか。

分かりやすかった（全員）

### 2. 講習会の内容は期待通りでしたか。

どちらかといえばYES（全員）

### 3. 期待通りであった点（記述）

- ・実際に痕跡を採集する方法（足跡スタンプなど）を知ることができた。
- ・説明が分かりやすかった。
- ・調査の方法、痕跡の見つけ方など参考になった。
- ・同定の難しさか理解できた。
- ・足跡からの動物種の推定、ヌタ場（掘り返し）を見ることができた。

### 今後、取り上げてほしい内容（記述）

- ・動物の巣穴を見てみたい。
- ・保護が必要な動物と必要ない動物（外来種？）についての活動
- ・調査の結果が環境保護（保全）にどのようにつながるのか。

### 4. 「NPO 法人 野生動物救護の会」をご存知ですか。

よく知っている（4名） 活動内容は知らない（1名）

### 5. ご意見・ご感想

- ・いろいろな野生動物の生活実態に興味がある。
- ・痕跡調査の結果から何がわかるのか、応用面も講義してほしい。
- ・公園や山を散策するときの観察のはばが広がった。
- ・野生動物救護の会には興味がなかったが、面白い活動だと思いました。
- ・動物のことを知るための工夫を提供できる一助になった。

(3) まとめ

今回、この講習会に参加して下さった5名の方たちは、いずれも非常に熱心に講義を聴いてくださり、体験調査にも積極的に取り組んでくださいました。参加者の方たちに助けられたところが大ではありますが、講師役としては有意義な講習会であったと感じています。参加人数(5名)も講師役2名に対して調度良い数であり、講義も体験調査も参加者全員に対応することができました。できたら、この講習会の本来の目的である「動物痕跡調査班の参加者募集」も成功することを願っております。

最後になりますが、講習会開催の急な申請を快く承認してくださいました渡辺優子 理事長をはじめ理事の方々、スタッフの方々にお礼申し上げます。また、日頃より動物痕跡調査事業に関してご助力を頂いております自然環境保全センター保護課の方々に感謝いたします。

表1 動物痕跡調査講習会の参加者名簿

氏名	会員・非会員
伊熊 智子	会員
笠原 逸子	会員
小沢 正幸	非会員
石塚 康彦	非会員
山口 洋一	非会員

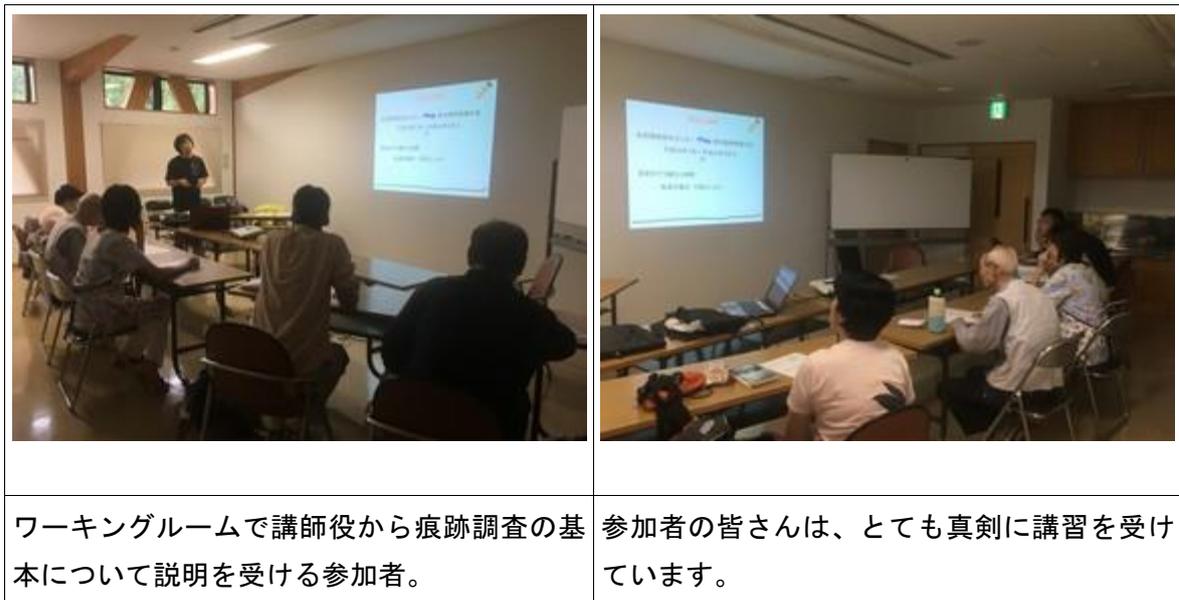


図1 講習会の様子

		
<p>湿地で発見した動物の糞。 柿のカスで橙色をしている。</p>	<p>大、小の蹄の跡。どんな動物のものか、後ほどカメラの映像で確認します。</p>	<p>痕跡についての講師役の説明を聴く参加者。</p>

図2 自然観察園での体験調査の様子

		
<p>20時21分 足跡は見つけれなかったけれど、野ウサギが食事に来ていました</p>	<p>23時24分 ウリ坊が1頭だけ歩いてきました。</p>	<p>23時26分 母イノシシと兄弟も後から走ってきました。</p>

図3 センターカメラの動画